第１１回北斗市地域公共交通会議における協議概要

＜報告事項１＞　平成 24 年度南北市街地連絡バスの利用実績（夏ダイヤ）について

会議資料 1 ページから 2 ページまで事務局より説明した。

＜報告事項２＞　平成 23 年度・平成 24 年度利用実績の比較（夏ダイヤ）について

会議資料 3 ページから 4 ページまで事務局より説明した。

＜報告事項３＞　南北市街地連絡バスＯＤ調査結果について

会議資料 5 ページを事務局より説明した。

これに関する質疑及び事務局の応答については、次のとおり。

（会長　　）　８月から利用者が減った理由が示されており、七重浜地区の温泉施設とあるが。

（事務局　）　せせらぎ温泉の利用推移を見て分かるとおり、その温泉施設が少なからず南北バスに影響が出ていると考える。

（委員　　）　大野農業高校さんに確認したい。事務局では、８月からの利用者減少を七重浜地区の温泉施設と推測しているが、その他として、貴校の在校生の減少や教育環境の変化が考えられないか。

（委員　　）　在校生の急激な減少はない。また、自転車などバス以外での交通手段などについては把握していない。

（事務局　）　利用者減少の影響を七重浜地区の温泉施設としているのは、あくまでも事務局の推測である。８月から、せせらぎ温泉の利用者が減少していることなどから判断したもの。

なお､大野農業高校さんの生徒数が大きく増減した話は聞いていない。また、教育環境が変化したものではなく、学校で大きな変化があったとは捉えていない。バスの利用者では、ここ何年間の推移では大きく増減したことがない。

＜協議事項１＞　夏ダイヤの一部変更について

会議資料７ページから 11 ページまで事務局より説明した。

これに関する質疑及び事務局の応答については、次のとおり。

（会長　　）　８月から利用者が減った理由が七重浜地区の温泉施設のリニューアルとあるが補足を。各委員からのご意見を賜る。

（事務局　）　せせらぎ温泉の利用者数の減少を鑑み、七重浜の湯の影響ではないかと考えている。

（委員　　）　大野農業高校に確認したい。七重浜の湯のリニューアルが利用者減少の要因として挙げられているが、貴校で、在校生の減少や教育環境の変化なども要因の一つとなっていないか。

（委員　　）　自転車など他の交通手段の利用については把握していない。なお、在校生の急激な減少はない。

（事務局　）　七重浜の湯の影響というのはあくまでも推測。８月からの利用者の減少などから判断したもの。なお、大野農業高校生徒さんが激減したとは聞いていないし、教育環境が変化したものとは捉えていない。

（会長　　）　その他ご意見賜りたい。

（委員　　）　せせらぎ温泉へ行くためバスを利用している。利用している便ではこれまで、１時間ほどしか温泉を利用することができなかった。今回の見直しで土日が、２時間ほど温泉を利用することができ感謝。

福祉バスは戸口から戸口、しかも南北バスと同じルートを運行しており影響があるのではないか。しかも七重浜の湯の影響もある。人口は増えていないので需要に応じた見直した必要。

利用していない便は削り、利用されている便は維持・継続してもらいたい。

（会長　　）　今回の見直しは利用しているものを重点化したもので、最大限の努力をしたものと理解する。それでは、廃止のルートについてご意見賜りたい。

（委員　　）　大野中学校では、本郷方面よりは一本木・千代田方面からの生徒が主となっている。廃止による影響はないと考える。

（委員　　）　上磯高校でも特に影響はないと考える。

（委員代理　）　冬ダイヤでは世話になっている。上磯中学校では、押上地区からの利用はないと思われる。

（委員　　）　停留所はあった方が便利。ただ、地域性と距離を考えれば公民館で乗降することができる。どこかで合理化しなければならないので、今回の見直しで良い。

（委員　　）　上磯中学校の生徒さんのことを危惧したが、先ほど影響がない旨確認したので了としたい。どこかで合理化しなければならないという気持ちは同じである。

（委員　　）　乗車数からみて廃止はやむを得ないところ。

（会長　　）　その他ご意見は。

（委員　　）　休日の運行で、運転手の待ち時間がある。休憩の観点から、営業所に戻してはどうか。また、経費の積算は１日で見ているのか、個々に積算しているのか。

（事務局　　）　運転手を営業所に戻すかどうかは手法の話。これまで運営主体となる函館バスさんと協議してきたので、その協議内容から逸脱することなくご提案させていただいた。なお、経費については実働時間としている。
　ご質問につちえは、道路運送法を踏まえ、函館バスさんと詰めていきたい。

　函館バス㈱が道路運送法に基づく一般乗合旅客運送事業の変更認可申請をする上で必要となる、「北斗市地域公共交通会議において協議が調っていることの証明書」について、事務局案をもとに説明をし、了承を得る。

　以上の質疑を経て、事務局案のとおり協議事項を決定した。

＜その他＞

（事務局　　）　冬ダイヤで上磯中学校への通学用路線があるが、朝夕において、上磯中学校の先生が乗降を指導していただき感謝している。
　今後もスムースな乗降ができるよう引き続きご協力を。

以上